

UBE

株主通信

Vol.10

2011年4月1日～2011年9月30日



技術の翼と革新の心。

Wings of technology and spirit of innovation.



株主の皆様へ

“株主通信”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の経済情勢は、アジアでは中国をはじめとして一定の景気拡大が継続しましたが、金融引き締め策の影響などによりその勢いは鈍化しており、また欧米では景気回復の度合いが極めて弱く、依然として金融不安が燻る中、失業率も高止まるなど、世界経済は全体として緩やかな回復が続きながらも景気の下振れ懸念が拭えず、不透明な環境が続きました。

一方国内経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱も、その立て直しが比較的順調に進み、景気を持ち直し傾向が継続していますが、円高や海外需要の停滞などにより、そのテンポは緩やかになっています。

このような状況の下、当社グループは2010年度から2012年度の三か年の中期経営計画「ステージアップ 2012 -新たな挑戦-」の基本方針に基づき、その二年目として目標の早期達成に向け更なる業績の向上に取り組んでまいりました。この結果、当中間期における当社グループの連結業績は増収増益となりました。

今後の経済情勢につきましては、欧米の財政危機と新興国での

金融引き締めの動きから、世界経済の減速が懸念され、円高や電力不足問題、タイの洪水影響など、事業環境は一段と不透明さを増しており、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

こうした情勢を踏まえ、株主の皆様にはまことに申し訳なく存じますが、中間配当は見送らせていただきましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては1株につき5円とさせていただきます予定です。

当社グループは、引き続きグループの総力を結集して目標の早期達成に取組み、株主や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認をさらに深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 竹下道夫

CONTENTS

株主の皆様へ	1
中間連結業績ハイライト	2
部門別概況(連結)	3
<Close-Up UBE> カプロラクタムチェーン事業	4
トピックス	5
決算の概況(連結)	7
CSR報告書のご案内	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2011年9月30日現在)



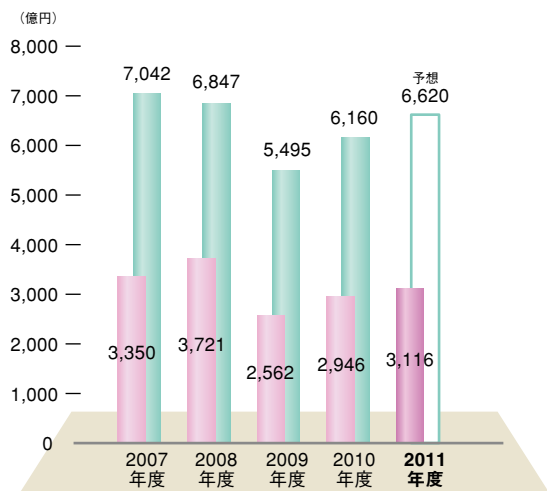
後列左から：杉下秀幸常務執行役員、渡邊史信常務執行役員、松波正常務執行役員、木内政行常務執行役員、梅津誠取締役、妙中信之常務執行役員、泉原雅人取締役
前列左から：野口章二取締役*、元田充隆取締役*、古川陽道代表取締役、田村浩章取締役会長、竹下道夫代表取締役社長、山本謙専務執行役員、糸口栄一執行役員

*社外取締役

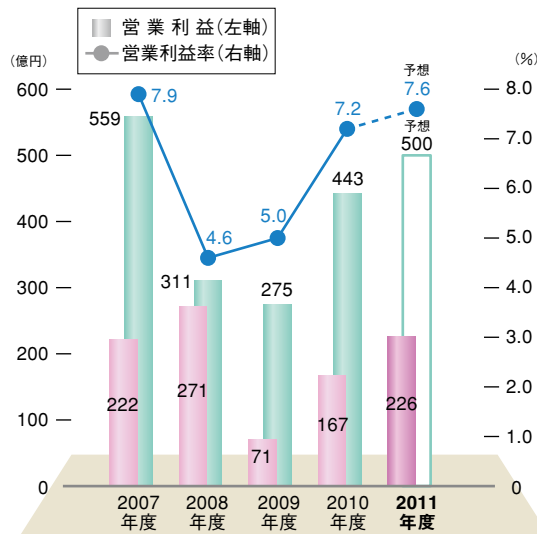
中間連結業績ハイライト

■ 通期 ■ 中間期 ● 通期 ● 中間期

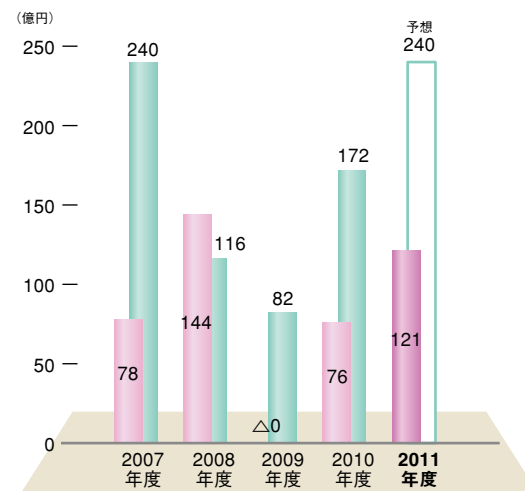
売上高



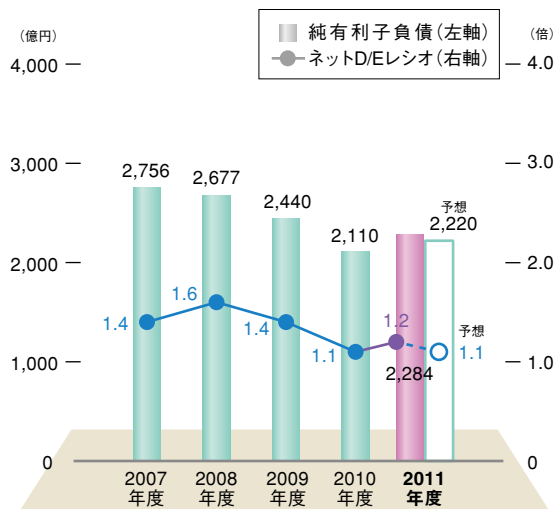
営業利益と売上高営業利益率



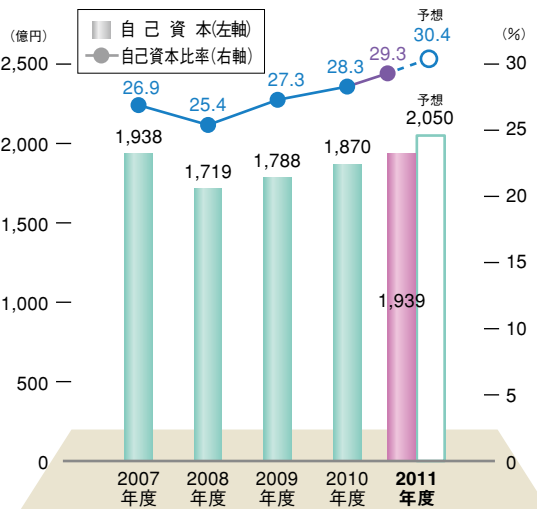
中間(当期)純利益



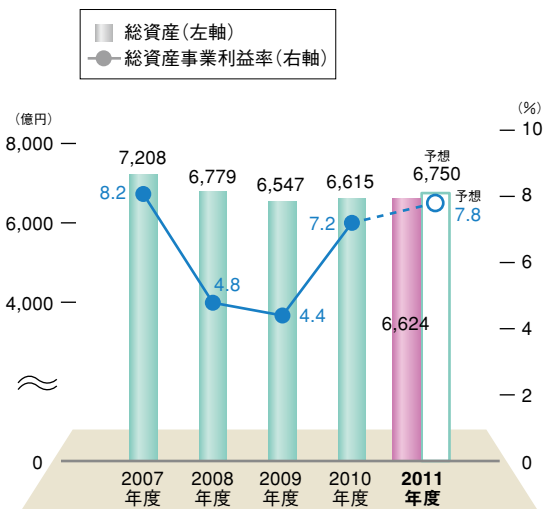
純有利子負債とネットD/Eレシオ*



自己資本と自己資本比率*



総資産と総資産事業利益率(ROA)*



* ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

* 自己資本比率 = 自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

* 総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

部門別概況（連結）

● 化成品・樹脂



売上高 **1,152**億円
(前中間期比18.5%⬇️)

営業利益 **137**億円
(前中間期比145.6%⬆️)



<主要製品>

- 合成ゴム
- カプロラクタムチェーン
 - カプロラクタム
 - ナイロン樹脂
 - 工業薬品

アジア市場の旺盛な需要に支えられ、ナイロン原料のカプロラクタムの販売は好調で、スプレッド（製品と原料の値差）も前年同期に比べ大幅に拡大しました。ポリブタジエン（合成ゴム）、ナイロン樹脂は、原料調達や自動車向け需要などの面で懸念された東日本大震災の影響が軽微にとどまり、販売は堅調でした。工業薬品は、火力発電向けなどでアンモニアの販売が好調でした。

● 建設資材



売上高 **1,008**億円
(前中間期比5.5%⬇️)

営業利益 **29**億円
(前中間期比2.1%⬇️)



<主要製品>

- セメント・生コン
- 資源リサイクル
- 石灰石
- 建材関連製品
(セルフベリング材、左官材、防水材)
- カルシア・マグネシア
- 機能性無機材料

セメント・生コン、建材製品の販売は、マンション・住宅着工や企業の設備投資の持ち直しにより下げ止まってきたものの、低水準で推移しました。しかしながら、旺盛な海外需要を受け輸出数量を増加させたことにより、セメント製造設備はフル稼働を維持し、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア・マグネシア製品では、カルシア製品が東日本大震災の影響を受け、全体では販売が低調でした。

● 機能品・ファイン



売上高 **335**億円
(前中間期比2.6%⬇️)

営業利益 **37**億円
(前中間期比11.4%⬇️)



<主要製品>

- 機能性材料
 - ポリイミド
 - 電池材料（電解液、セパレーター）
 - 半導体関連・電子材料
(高純度化学薬品、光通信関連)
 - ガス分離膜
 - セラミックス
- 通信部品
- 航空宇宙材料
- ファインケミカル

電子情報材料分野の需要不振のため多くの製品で出荷が伸び悩み、一部の製品では価格が低下しました。またファインケミカル製品、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミド製品は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱の影響も受けました。一方、リチウムイオン電池用の電解液・セパレーターの販売は好調で、セラミックスも太陽電池生産部材用途を中心に需要が旺盛でした。

● 機械・金属成形



売上高 **335**億円
(前中間期比19.1%⬇️)

営業利益 **6**億円
(前中間期比42.8%⬇️)



<主要製品>

- 成形機
(ダイカストマシン、射出成形機)
- 産機（運搬機、ミル、破砕機）
- 橋梁・鉄構
- 製鋼品

自動車産業向けを中心とする成形機は出荷、受注ともに増加しましたが、堅型ミルや運搬機等の産業機械は出荷、受注ともに減少しました。成形機、産業機械ともに円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により採算は厳しい状況が続きました。製鋼品の出荷は堅調でしたが、材料スクラップ価格高騰の影響を受けました。

● 医薬



売上高 **38**億円
(前中間期比8.0%⬇️)

営業利益 **7**億円
(前中間期比50.3%⬇️)



<主要製品>

- 医薬品（原体、中間体）

自社医薬品の抗アレルギー剤を中心として、原体・中間体の出荷は概ね順調でしたが、当期はもともと出荷計画が期の後半に集中していることもあり、販売は前年同期を下回りました。

● エネルギー・環境



売上高 **308**億円
(前中間期比15.4%⬇️)

営業利益 **15**億円
(前中間期比18.7%⬇️)



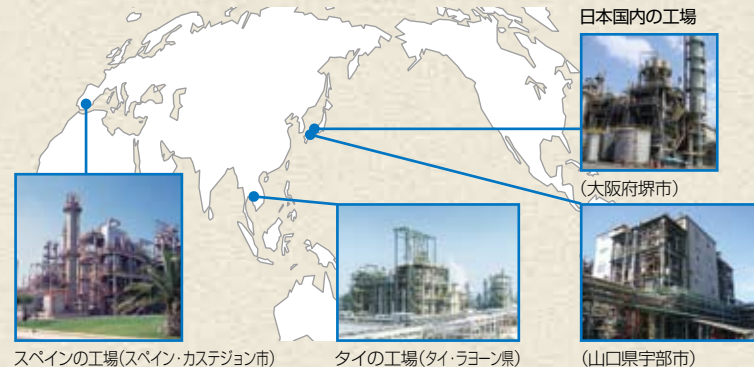
<主要製品>

- 石炭
- 電力

石炭の販売は主要顧客である化学・繊維会社向けを中心に増加しました。預り炭についても電力会社向けを中心として、コールセンター（貯炭場）の取扱い数量は堅調に推移しました。電力事業は、燃料である石炭価格は上昇したものの、売電価格の上昇もあり堅調でした。

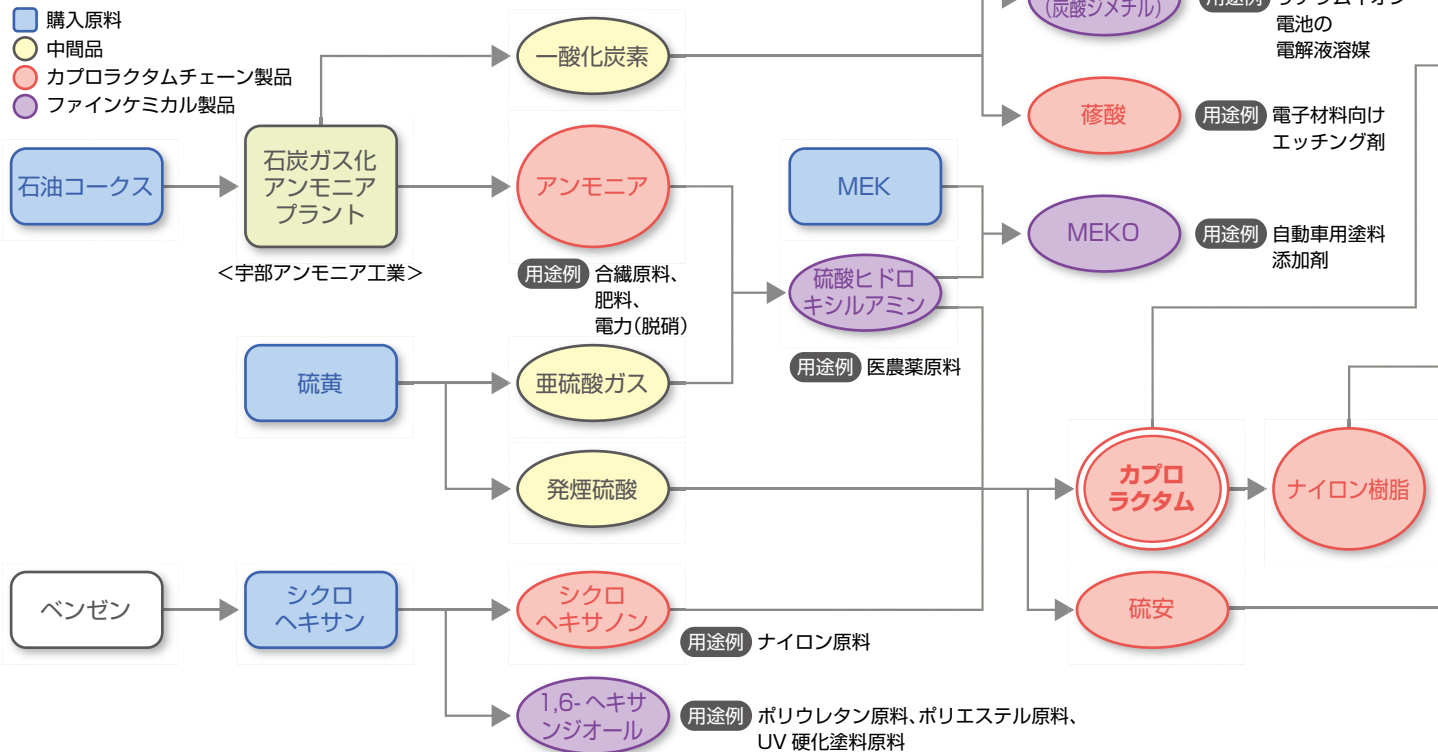
クローズアップ <Close-Up UBE> カプロラクタムチェーン事業

UBEの主力製品カプロラクタムは、ナイロンの原料です。
 1956年にカプロラクタムの生産を開始したUBEは、現在、世界3極4工場で世界3位、アジア最大の生産規模を誇り、需要拡大が進むアジア市場で存在感を発揮しています。
 カプロラクタムを原料として、UBEが生産するナイロン樹脂は、カプロラクタムとともにその品質が高く評価され、国内最大の生産能力を持つアンモニアなどの工業薬品とともに、カプロラクタムチェーンとしてさらなる競争力向上に取り組んでいます。
 また、カプロラクタム製造工程の有効成分を抽出利用した1,6-ヘキサンジオールや、アンモニア製造工程からの一酸化炭素を利用したDMCなどのファインケミカル製品も、需要拡大に合わせグローバル展開を強化しています。



カプロラクタムの製造工程と派生製品

- 購入原料
- 中間品
- カプロラクタムチェーン製品
- ファインケミカル製品



(宇部ケミカル工場での製造工程と派生製品の一部)

トピックス

2011年度中間期トピックス一覧

2011年 4月 堺工場でカプロラクタム 年産5千トンの増産工事が完工

5月 韓国サムスン モバイル ディ스플레이社と、
次世代ディスプレイ用基板材料の合併会社設立に合意 **Topics 1**

6月 AMC[®](多層カーボンナノチューブ*1)を事業化 **Topics 2**

6月 タイ国で1,6-ヘキサジオール*2の新工場が
営業運転を開始 **Topics 3**

7月 米国ダウ・ケミカル社と、リチウムイオン電池向け電解液の
合併会社設立に合意 **Topics 4**

8月 超小型衛星プロジェクトに参画

8月 「UBEグループ CSR報告書2011」を発行

8月 宇部マテリアルズ(株)が双日(株)と中国の石灰事業に参画

9月 第7期機能膜(セパレーター)製造設備が
営業運転を開始 **Topics 5**

9月 第四医薬品製造設備が営業運転を開始 **Topics 6**

Topics 1

機能品・ファイン

韓国サムスン モバイル ディ스플레이社と、 次世代ディスプレイ用基板材料の合併会社設立に合意



サムスンモバイルディスプレイ社との調印式

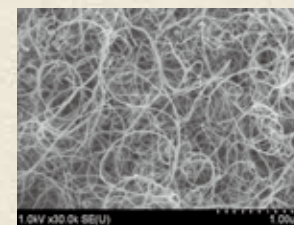
韓国サムスンモバイルディスプレイ社と合併で次世代ディスプレイの基板用にポリイミドを製造販売することに合意し、8月に合併会社「エスユーマテリアルス社」を設立しました。当社のポリイミドは、耐熱性が高く、寸法安定性に優れた高機能の樹脂で、薄型パネルを中心にさまざまな電子・情報機器に使用されています。今回設立した合併会社を通じて、フレキシブルな有機ELディスプレイなど新たな用途展開と市場拡大を図り、ポリイミドチェーン事業の成長を加速します。

Topics 2

機能品・ファイン

AMC[®](多層カーボンナノチューブ*1)を事業化

独自開発の触媒と製法により優れた分散性や導電性を実現したAMC[®](多層カーボンナノチューブ)について、年産能力20トンの製造設備を10月に稼動開始しました。AMC[®]は、リチウムイオン電池の性能を向上させることができる正極・負極の導電助剤として、今後の需要拡大が見込まれます。また、樹脂に添加することで樹脂本来の物性を妨げずに帯電や静電を防止できるため、半導体搬送容器やOA機器部材などにも適しています。



AMC[®](電顕写真)



AMC[®](ペレット)



*1 **カーボンナノチューブ** 直径が0.4～50nm(ナノメートル:十億分の一メートル)のチューブ状をした炭素の結合体で、成形加工しやすく、導電性が高いと同時に耐久性があることから、半導体や構造材料などさまざまな用途が期待されています。

Topics 3

機能品・ファイン

タイ国で1,6-ヘキサジオール*2の新工場が営業運転を開始



タイ国の1,6-ヘキサジオール製造設備

タイ国で1,6-ヘキサジオールの新工場が営業運転を開始しました。1,6-ヘキサジオールは、高品質、高性能なポリエステル、ポリウレタン樹脂や接着剤原料などに使用されます。特に近年では、溶剤を使用しない環境にやさしいコーティング材の原料としての適用も進んでいます。アジアの旺盛な需要に応えるとともに、日本、スペインに次ぐ第3の拠点新設により、競争力は一層強化されます。

Topics 4

機能品・ファイン

米国ダウ・ケミカル社と、リチウムイオン電池向け電解液の 合併会社設立に合意



ダウ・ケミカル社との調印式

米国ダウ・ケミカル社とリチウムイオン電池の主要部材の一つである電解液の製造販売を合併で行うことに合意しました。電池性能向上に定評がある当社の「機能性電解液」の開発力に、ダウ・ケミカル社の世界的な展開力を加え、グローバルな供給体制を整えて、今後、民生用途や自動車用途、蓄電池用途で大きく拡大が見込まれるリチウムイオン電池市場に対応してまいります。

Topics 5

機能品・ファイン

第7期機能膜(セパレーター)製造設備が営業運転を開始



第7期機能膜(セパレーター)製造設備

宇部ケミカル工場に8月完工した第7期機能膜(セパレーター)製造設備が、9月から営業運転を開始しました。乾式製法を採用した当社のセパレーターは、民生ならびに電気自動車やハイブリッド車のリチウムイオン電池用途で、高く評価されています。今後、さらに急拡大が見込まれる需要に対応し、タイムリーな製造設備の増強を進めています。

Topics 6

医薬品

第四医薬品製造設備が営業運転を開始



第四医薬品製造設備

宇部ケミカル工場でcGMP対応の第四医薬品製造設備が商業運転を開始しました。独自の創薬技術と製薬会社との共同研究開発から生まれ、当社が原体を製造・供給する抗アレルギー剤「タリオン」、血圧降下剤「カルブロック」、抗血小板剤「エフィエント」をはじめとする医薬品原体・中間体の需要拡大に対応し、安定供給に努めてまいります。

*2 1,6-ヘキサジオール カプロラクタム由来の製品で、数万トン規模のニッチなマーケットであり需要は堅調に推移しています。世界で3社しか生産しておらず、当社は日本で唯一、世界2位(アジア最大)のメーカーです。

決算の概況(連結)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2011年3月31日現在)	当中間期 (2011年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	281,701	280,249
現金及び預金	49,711	32,335
受取手形及び売掛金	134,914	134,667
たな卸資産	73,247	89,818
その他	23,829	23,429
固定資産	379,793	382,197
有形固定資産	313,945	315,215
無形固定資産	4,988	4,896
投資その他の資産	60,860	62,086
繰延資産	18	10
資産合計	661,512	662,456

主な科目	前期 (2011年3月31日現在)	当中間期 (2011年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	249,701	272,727
支払手形及び買掛金	89,135	86,790
短期借入金	96,859	93,680
コマーシャル・ペーパー	3,000	17,998
1年内償還予定の社債	40	15,020
その他	60,667	59,239
固定負債	200,362	171,384
社債	15,100	100
長期借入金	144,082	132,473
退職給付引当金	7,026	6,779
その他	34,154	32,032
負債合計	450,063	444,111
純資産の部		
株主資本	200,920	208,050
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,451	28,451
利益剰余金	114,817	121,953
自己株式	△783	△789
その他の包括利益累計額	△13,906	△14,116
新株予約権	387	427
少数株主持分	24,048	23,984
純資産合計	211,449	218,345
負債・純資産合計	661,512	662,456

POINT 1 流動資産

たな卸資産が165億円増加しましたが、現金及び預金が173億円減少したことなどにより、前期末比14億円(0.5%)減少しました。

POINT 2 負債

支払手形及び買掛金が23億円減少したことなどにより、前期末比59億円(1.3%)減少しました。

POINT 3 純資産

利益剰余金が71億円増加したことなどにより、前期末比68億円(3.3%)増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
売上高	294,656	311,642
売上原価	240,207	250,271
売上総利益	54,449	61,371
販売費及び一般管理費	37,719	38,722
営業利益	16,730	22,649
営業外収益	3,678	3,894
営業外費用	6,694	5,821
経常利益	13,714	20,722
特別利益	636	113
特別損失	1,671	1,484
税金等調整前中間純利益	12,679	19,351
法人税等	4,811	6,679
少数株主損益調整前中間純利益	7,868	12,672
少数株主利益	265	501
中間純利益	7,603	12,171

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,600	11,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,091	△23,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,740	△5,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△842	326
現金及び現金同等物の増減額	△1,073	△17,341
現金及び現金同等物の期首残高	37,281	49,522
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,208	32,181

連結株主資本等変動計算書 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	58,435	28,451	114,817	△783	200,920	△13,906	387	24,048	211,449
中間期中の変動額									
剰余金の配当			△5,035		△5,035				△5,035
中間純利益			12,171		12,171				12,171
自己株式の取得				△6	△6				△6
株主資本以外の項目の中間期中の変動額(純額)						△210	40	△64	△234
中間期中の変動額合計			7,136	△6	7,130	△210	40	△64	6,896
中間期末残高	58,435	28,451	121,953	△789	208,050	△14,116	427	23,984	218,345

CSR報告書は、皆様に一年間のCSR活動の結果と課題をわかりやすくお伝えしています。



2011年版の特徴

1. 企業の発展と地域の発展は同じ座標軸の中にあるとした、創業理念の「共存同栄」についてご紹介いたしました。
2. 「共存同栄」の一例として、海外の主要拠点であるタイUBEグループにおけるCSR経営の取り組みと、地球規模での持続可能な発展を目指した環境経営への取り組みを「特集」の中でまとめました。
3. 「CSRマネジメント」のページを、従来のステークホルダーごとから、CSRマトリックスの項目ごとに整理いたしました。
4. 東日本大震災に関して、当社グループの初動体制と課題・影響、そして長期的な復興支援などを報告いたしました。
5. 読みやすい紙面づくりを追求し、カラーユニバーサルデザイン認証に加え、ユニバーサルフォントを採用いたしました。

「UBEグループCSR報告書2011」は当社HP (<http://www.ube.co.jp>) 環境安全・社会貢献のページよりダウンロードいただけます。
 (お問合せ・資料請求先：CSR推進部 Tel：03-5419-6118 Fax：03-5419-6237)

会社概要

設立	1942(昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,830人(連結 11,171人)
連結対象会社	89社 (連結子会社 65社、持分法適用会社 24社)
ホームページアドレス	http://www.ube.co.jp

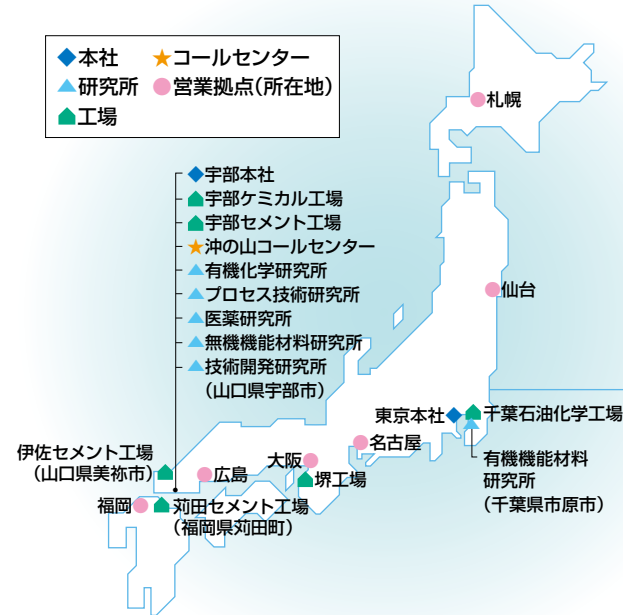
役員

(注) *は取締役との兼務を示しています。

取締役 会長	田村 浩章	社長執行役員 *	竹下 道夫
代表取締役 社長	竹下 道夫	副社長執行役員 *	古川 陽道
代表取締役	古川 陽道	専務執行役員	山本 謙
取締役	梅津 誠	常務執行役員	チャルニピットク
取締役	泉原 雅人	常務執行役員 *	梅津 誠
社外取締役	元田 充隆	常務執行役員	杉下 秀幸
社外取締役	野口 章二	常務執行役員	渡邊 史信
		常務執行役員	妙中 信之
		常務執行役員	久保田 隆昌
常任監査役(常勤)	藤岡 啓介	常務執行役員	松波 正
常任監査役(常勤)	三宅 節郎	常務執行役員	木内 政行
常任監査役(常勤)	岩淵 毅	常務執行役員	リカルドベソリア
監査役	杉尾 整	執行役員	杉瀬 良二
		執行役員	六角 朋生
		執行役員	大原 真二
		執行役員	上田 淳
		執行役員	糸口 栄一
		執行役員	平井 雅典
		執行役員	三隅 淳一
		執行役員 *	泉原 雅人
		執行役員	佐藤 津義
		執行役員	松永 悦夫
		執行役員	岡田 徳久
		執行役員	野嶋 正彦

主な事業所

国内拠点



部門別主要連結対象会社

化成系・樹脂部門	建設資材部門
宇部フィルム(株)	宇部興産海運(株)
タイ・シンセティック・ラバーズ社(タイ国)	大協企業(株)
宇部アンモニア工業(有)	萩森興産(株)
ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社(スペイン)	ウベボード(株)
ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	宇部建設資材販売(株)
ウベ・エンジニアリング・プラスチック社(スペイン)	(株)関東宇部ホールディングス
	宇部マテリアルズ(株)
	山石金属(株)
	宇部三菱セメント(株)*
機能系・ファイン部門	機械・金属成形部門
宇部日東化成(株)	宇部興産機械(株)
明和化成(株)	ウベ・マシナリー社(米国)
ユー・イー・エル(株)	宇部テクノエンジ(株)
ウベ・ファイン・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	(株)宇部スチール
	(株)福島製作所
エネルギー・環境部門	その他の部門
宇部シーアンドエー(株)	ウベ・アメリカ社(米国)
	ウベ・コーポレーション・ヨーロッパ社(スペイン)
	ウベ・ホンコン社(中国)

*持分法適用会社

海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株
 発行済株式の総数 1,007,034,007株 (自己株式2,130,999株を除く)
 株主数 76,478名

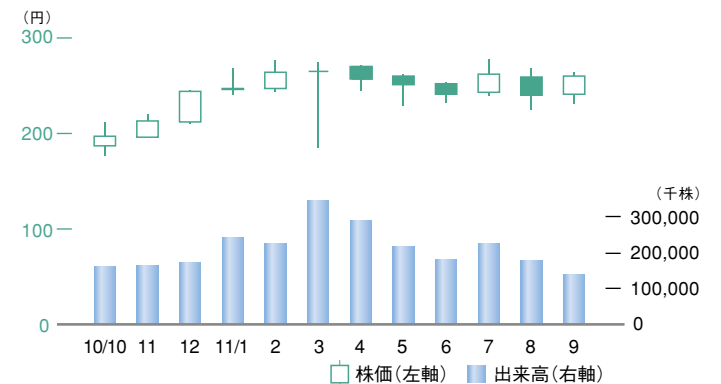
大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	95,876	9.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	66,381	6.59
全国共済農業協同組合連合会	29,960	2.98
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	25,270	2.51
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	25,023	2.48
日本生命保険相互会社	20,000	1.99
住友生命保険相互会社	20,000	1.99
SSBT OD05 OMNIBAS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	18,219	1.81
ピーイーエイチ493025ブラックロックグローバルケーションファンドインク	15,559	1.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,500	1.34

配当金推移

1株当たり配当金	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	4.0円	5.0円	4.0円	4.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

株価及び出来高 (東京証券取引所)



Information

単元未満株式(当社では1,000株未満の株式)の買取・買増制度について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっておりますので、単元未満株式をお持ちの株主様につきましては、端数となっております株式が整理できる買取・買増制度を設けております。証券会社等にお持ちの口座に単元未満株式がございます場合には、お取引証券会社等へお申し出ください。

買取請求とは 株主様がご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

買増請求とは 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行 証券代行部(電話0120-232-711)へお申し出ください。

UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という創業の理念を踏まえ、下記のグループビジョンを掲げ、機能性材料や環境負荷の低い製品・技術など、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造していきます。

UBEグループビジョン

技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日
定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告
<http://www.ube.co.jp>
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)

【株式に関するお手続きについて】

1. 単元未満株式の買取・買増、住所・氏名等のご変更、株式の口座振替請求、配当金受取方法の指定等のお申出先原則、株主様が口座を開設されているお取引証券会社等にて手続きをお取りください。
ただし、証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行 証券代行部にて手続きをお取りください。
2. 未払配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問合せ
株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。

宇部興産株式会社 ■ 東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館
■ 宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。
実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おください。



文化庁登録第17298号の1



本書は、FSC™の認証紙を使用し、塩素化合物の排出を最小限に抑えたECF(無塩素漂白)パルプから製造された用紙と、植物油インキを使用しています。